

JA全農えひめ情報

みらい

8

2016・August

■特集

全農愛媛県本部運営委員会新体制決まる



愛媛の酒蔵めぐり

14

寿喜心



▲天気のいい日は、南にくっきりと霊峰石鎚山が見える。仕込み水は石鎚山から湧く井戸水を使用。過去15年で連続5年を含み7回の全国新酒鑑評会金賞受賞

すとう 首藤酒造株式会社

代表銘柄
創業者
代表者
住所
TEL

すまごころ
寿喜心
1901年(明治34年)
代表取締役社長 首藤 壮一郎
西条市小松町大頭甲312-2
0898-72-2720(代)

▲(右)「寿喜心 山田錦50% 純米大吟醸」酸味と甘みのバランスが抜群。ボリューム感のある味わいで、味の濃い料理との相性が最高
(中)「寿喜心 雄町 純米」香りは高くフルーティー。雄町米特有の「酸味」で、スッキリとした後切れが楽しめる
(左)「寿喜心 しずく媛 純米」口あたりがやさしく飲みやすい。日本酒ビギナーにも好評

酒はめでたい席や喜びごとに、心たのしく酌み交わしてもらいたいと命名の銘柄「寿喜心」を代々守る首藤酒造は松山自動車道小松インターから車で2分の国道11号沿いにあります。「平成16年、社屋隣の妙之谷川氾濫の甚大な台風被害で蔵が全滅し落胆の最中には多くの温かい支援が力になった」と言う壮一郎さんはその後、酒造り、営業、決算と社長業を継ぐべく濃密な時間を経て、平成20年に5代目となります。

酒造りは高齢の伊方杜氏から徐々に引き継ぎ、父である先代と弟2人の誰が製造責任者でも遜色ない体制へと舵をきりました。家族のチームワークを強みに、モットーは「妥協なき酒造り」です。酒はいきもの一筋縄ではいきませんが経験や知識で解決策を導き、その経験は翌年へとつながります。「成功した時のうれしさややりがいは中毒になるほど」と情熱を傾け、目指すのはひと口飲んで「あっおいしい」が自然と口をつき、肴なしでもスイスイとすすむ酒。元来のさらりとした甘口に、口当たりの良さやきめ細かさが加わった酒です。

「愛媛でいい米を作ってもらい、いい酒を仕込む。県内の酒蔵が一丸となって県外へ、国外へとアピールして進んでいきたい」。壮一郎さんは西条のしずく媛の田を見学し、農家の一生懸命さに感謝しつつ、蔵元も応えなければという思いを強くしています。

あぐり〜ど

August 2016

CONTENTS

全農グループの経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を安心して結ぶ
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

今月の表紙



待ちに待った夏休みは、今年こそ宿題を早く仕上げて、最後にあわてないようにしたいものですね。自由研究は朝顔の観察。機転をきかせて、写生や絵日記も一緒にすませておけば一石二鳥！ おばあちゃん差し入れのスイカとブドウを食べたら、もうひと頑張り。サルスベリも上からのぞき込んで見えています。

●表紙：夏休みの宿題
はら ふみ(イラストレーター)

※「あぐり〜ど」は、「愛媛農業 (Agriculture)」を「リード (Lead) する」という意味と「心をつなげる (Agreed)」という意味を込めています。

農の風景Vol.188

愛媛の酒蔵めぐり⑭～首藤酒造(株)

2

〈特集〉全農愛媛県本部運営委員会新体制決まる

菅野幸雄会長・西本満俊副会長が就任

4

県内JA新トップ紹介
イベント情報

6

THE・ねっとわーく

7

統計BOX

8

ふるさと ESSAY VOL.256

今の心境は、

「のぼりつめて 少しでもあれば
秋の寺」かな？

塩崎 剛さん

10

TOPIC NEWS

14

なんでもBOX

16

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉ナス

JA全農えひめ

ホームページ

<http://www.eh.zennoh.or.jp>

■JA全農えひめ「えひめの食」企画
<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/>
※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。

◆(株)えひめ飲料
<http://www.ehime-inryo.co.jp>

◆JAえひめアイパックス(株)
<http://www.iyokkora.jp/>

◆JAえひめ物流(株)
<http://www.jat-ehime.co.jp/>

◆JAえひめフレッシュフーズ(株)
<http://fresh-ranran.jp/>

◆(株)ひめライス
<http://www.himerice.jp/>

◆JAえひめエネルギー(株)
<http://www.ja-ehimeene.co.jp>

全農愛媛県本部運営委員会 菅野幸雄会長・西本満俊副会長が就任

全農愛媛県本部（JA全農えひめ）は、6月29日に「会員代表者会」と「運営委員会」を開き、運営委員会の新体制を決めました。

新しい運営委員会会長には、JAえひめ中央の菅野幸雄経営管理委員会会長、副会長にはJAにしようの西本満俊経営管理委員会会長が就任しました。

運営委員会会長



かの ゆきお
菅野 幸雄（JAえひめ中央経営管理委員会会長）

■略歴

- ・昭和24年生まれ
- ・昭和43年 温泉青果農協 入組
- ・平成19年 JAえひめ中央 経済事業本部参事
- ・平成19年 JAえひめ中央 経済事業本部担当常務理事
- ・平成22年 JAえひめ中央 代表理事理事長
- ・平成28年 JAえひめ中央 経営管理委員会会長（現）
JA全農えひめ 運営委員会会長（現）
JA全農 経営管理委員（現）
日本園芸農業協同組合連合会 理事（現）

運営委員会副会長



にしもと みつとし
西本 満俊（JAにしよう経営管理委員会会長）

■略歴

- ・昭和24年生まれ
- ・昭和45年 八幡浜青果農協 入組
- ・昭和60年 八幡浜青果農協 理事
- ・平成3年 西宇和青果農協 常務理事
- ・平成5年～15年 JAにしよう 常務理事
- ・平成25年 JAにしよう 代表理事理事長
- ・平成28年 JAにしよう 経営管理委員会会長
JA全農えひめ 運営委員会副会長（現）

運営委員



しのはら かずし
篠原 一志

(JAうま代表理事組合長)



ふくもと よりゆき
福本 頼幸

(JA新居浜市代表理事組合長)



とだ こうじ
戸田 耕二

(JA周桑代表理事組合長)



い で ひろゆき
井手 洋行

(JAおちいまばり経営管理委員会会長)



もり えいいち
森 映一

(JA松山市代表理事組合長)



きくち ひであき
菊地 秀明

(JA愛媛たいき代表理事組合長)



わ け しげた
和氣 茂太

(JAひがしうわ代表理事組合長)



くろだ よしと
黒田 義人

(JAえひめ南代表理事組合長)



た さか みのる
田坂 實

(JA愛媛中央会会長)

県内JA新トップ紹介

JAおちいまばり

経営管理委員会会長

(平成28年6月27日就任)

井手 洋行
い で ひろゆき



◆略歴

- ・昭和26年生まれ
- ・平成16年 JAおちいまばり経営管理委員
- ・平成28年 JAおちいまばり経営管理委員会会長

JAえひめ中央

経営管理委員会会長

(平成28年6月28日就任)

菅野 幸雄
かんの ゆきお



◆略歴

- ・昭和24年生まれ
- ・昭和43年 温泉青果農協入組
- ・平成19年 JAえひめ中央経済事業本部参事
- ・平成19年 JAえひめ中央経済事業本部担当常務
- ・平成22年 JAえひめ中央代表理事理事長
- ・平成28年 JAえひめ中央経営管理委員会会長
- ・平成28年 JA全農えひめ運営委員会会長

JAえひめ中央

代表理事理事長

(平成28年6月28日就任)

福島 龍雄
ふくしま たつお



◆略歴

- ・昭和27年生まれ
- ・昭和50年 温泉青果農協入組
- ・平成20年 JAえひめ中央参事
- ・平成22年 JAえひめ中央代表理事専務
- ・平成28年 JAえひめ中央代表理事理事長

JAにしうわ

経営管理委員会会長

(平成28年6月27日就任)

西本 満俊
にしもと みつとし



◆略歴

- ・昭和24年生まれ
- ・昭和45年 八幡浜青果農協入組
- ・昭和60年 八幡浜青果農協理事
- ・平成3年 西宇和青果農協常務理事
- ・平成5年～15年 JAにしうわ常務理事
- ・平成25年 JAにしうわ代表理事理事長
- ・平成28年 JAにしうわ経営管理委員会会長
- ・平成28年 JA全農えひめ運営委員会副会長

JAにしうわ

代表理事理事長

(平成28年6月27日就任)

きのした
木下
ちかし
親



◆略歴

- ・昭和32年生まれ
- ・昭和54年 八幡浜青果農協入組
- ・平成19年 JAにしうわ共済部 部長
- ・平成23年 JAにしうわ青果販 売部部長
- ・平成25年 JAにしうわ総務部 部長
- ・平成28年 JAにしうわ総務部 担当部長
- ・平成28年 JAにしうわ代表 理事理事長

JAひがしうわ

代表理事組合長

(平成28年6月25日就任)

わげ
和氣
しげた
茂太



◆略歴

- ・昭和26年生まれ
- ・昭和48年 就農
- ・平成22年 JAひがしうわ理事
- ・平成25年～28年 愛媛県酪農業 協同組合連合会代表 理事会長
- ・平成28年 JAひがしうわ代表 理事組合長

〈イベント情報〉

10月29日(土) アイテムえひめで レインボーフェスティバルを開催します！

J A全農えひめとグループ会社は、10月29日(土)、松山市大可賀のアイテムえひめで、生産者と消費者の交流イベント「レインボーフェスティバルinえひめ2016」を開催します。

■日時：平成28年10月29日(土) 9：40～15：30

■場所：アイテムえひめ（松山市大可賀）

この催しは、全農グループの経営理念「生産者と消費者を安心して結ぶ懸け橋」に基づき、「新鮮で安全・健やかな食文化の創造」「生産者と消費者のネットワーク」をコンセプトに、県内JAや各種団体のご協力により、毎年開催している県内JAグループの一大イベントです。今回で24回目になります。

会場では、JA・関係組織による県内各地の農畜産物・特産品の即売、食と農の体験イベント、キャラクターショー、オレンジロードスタートイベントなどを行う予定です。

出品参加を希望される担い手・グループは、9月15日(木)までに最寄りのJAまたは下記のイベント事務局までご連絡ください。

◆イベント事務局：JA全農えひめ 総務課（担当：湯上）(TEL.089-948-5308)



JA全農えひめ 平成27年度取扱高実績
(単位：百万円)

部 門	計 画	実 績
食 糧 部	2,548	2,581
営 農 販 売 部	43,527	42,820
畜 産 部	11,370	12,496
生 産 資 材 部	15,877	14,140
生 活 部	11,062	9,980
合 計	84,383	82,016

JA全農えひめグループ会社
平成27年度取扱高実績

(単位：百万円)

会 社 名	計 画	実 績
(株) え ひ め 飲 料	23,377	22,669
J A え ひ め ア イ バ ッ ク ス (株)	4,084	3,992
J A え ひ め フ レ ッ シ ュ フ ー ズ (株)	3,484	3,691
(株) ひ め ラ イ ス	4,086	3,967
J A え ひ め エ ネ ル ギ ー (株)	2,589	2,692
(株) え ひ め フ ー ズ	798	725
J A え ひ め 物 流 (株)	7,070	6,667
合 計	45,488	44,383

平成27年度 全農愛媛県本部表彰
【JA表彰】

越智今治農業協同組合

【特別功勞表彰】 ※カッコ内は農協名

福羅 隆一 (越智今治)	西坂 文秀 (越智今治)
河本 和憲 (えひめ中央)	濱田 賢資 (西宇和)
福井 義夫 (東宇和)	

【優良職員表彰】 ※カッコ内は農協名

大原 稔 (うま)	黒瀬 文生 (新居浜市)
武方 一憲 (東予園芸)	久万川 滋 (松山市)
竹内 利幸 (松山市)	吉岡 俊治 (えひめ中央)
菊池 文雄 (西宇和)	谷川 孝広 (西宇和)
福井 重雄 (東宇和)	

管理部
JA全農えひめは、6月29日、松山市のJA愛媛で会員代表者会を開き、運営委員会員の選任と平成27年度の事業報告を行いました。

THE
「会員代表者会を開き
平成27年度事業を報告」

■平成27年度事業報告

JA全農えひめは、6月29日、松山市のJA愛媛で会員代表者会を開き、運営委員会員の選任と平成27年度の事業報告を行いました。

■平成27年度事業報告

県本部の総供給販売高は、全体で計画比98%の93.9億9,575万円となりました。総供給販売高から本部間販売・内部販売を除いた取扱高(事業分量)は、820億1,600万円で計画を23億6,700

万円下回りました。各部の概況は次の通りです。

【食糧部】米の販売数量増加により取扱高が増加。

【営農販売部】温州みかんの正品出荷数量の大幅減少、野菜の数量減少により取扱高が減少。

【畜産部】豚出荷頭数の減少があったものの、牛・豚相場の高値推移により取扱高が増加。

【生産資材部】肥料・農薬の前年度末早期引取の影響、施設工事の事業延期や計画変更、みかん用段ボールの出荷数量減少により取扱高が減少。

【生活部】家電製品などの生活用品やメモリアル関連品の販売不振により取扱高が減少。

また、県本部グループ7社の売上高合計は、計画比98%の44.3億8,300万円となったこと等を報告しました。

同日には各連合会表彰も行われ、JA全農えひめ関係では、27年度の系統経済事業の取り組みに功績のあった1JAとJA職員14人を表彰しました。表彰者は左表のとおりです(敬称略)。

統計BOX

農作業中の死亡事故は年間350件

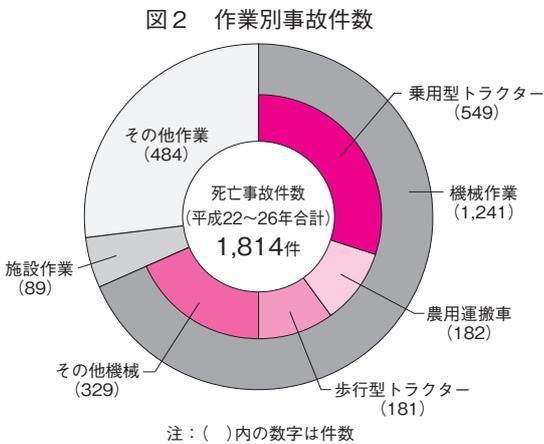
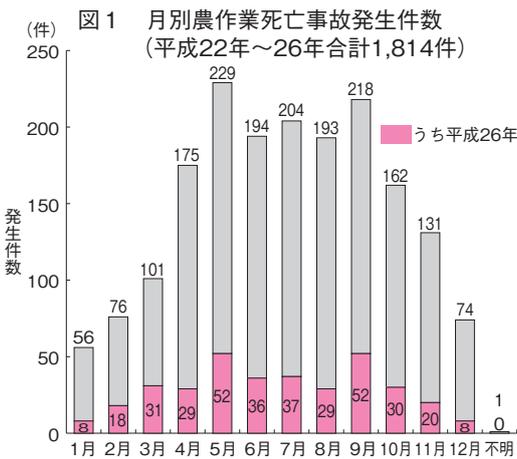
— 農林水産省生産局「平成26年に発生した農作業死亡事故の概要」から —

近年、農作業中の死亡事故が、年間350〜400件発生し、そのうちの約7割が農業機械作業中の事故です。また、熱中症による事故も増加しています。

農作業中の死亡事故は交通死亡事故のおよそ3倍

平成26年に全国で農作業死亡事故が350件発生しました。そのうち機械作業中の事故は232件、農業施設で24件、その他作業中に94件となっています。

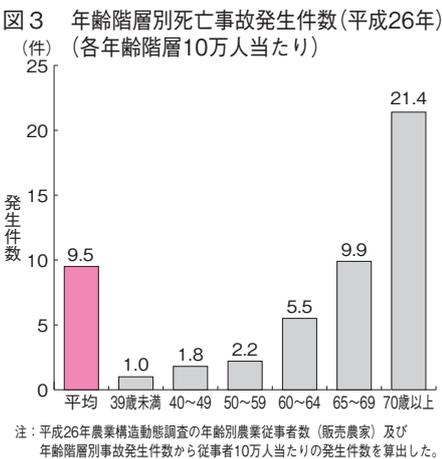
全国の農業従事者数370万人（平成26年農業構造動態調査）から算出すると、10万人当たりの発生件数は9.5件となります。ちなみに、平成26年の交通事故による10万人当たりの死者数は3.2人（警察庁交通局・平成27年における交通事故死亡事故の特徴について）ですから、農作業死亡事故は交通死亡事故のおよ



機械作業中の事故が7割、高齢者による事故が多発

5年間で最も多かった事故は機械作業中（1,241件）で、全体の68%を占めています。機種別の内訳は乗用型トラクターによるものが549件（機械作業の44%）、農用トラクターなど農用運搬車が182件（同15%）、歩行型トラクターが181件（同15%）となっています（図2）。原因別では、乗用型トラクター、農用運搬車では転落・転倒、歩行型トラクターでは挟まれ、回転部等への巻き込みなどが主なものですが、また、その他作業（484件）で

その3倍にのぼります。また、平成22〜26年の5年間で、農作業死亡事故が合計1,814件発生しており、月別には水稲などが農繁期となる4月から10月に多く発生していることがうかがえます（図1）。



中国四国農政局愛媛支局 統計チーム

は、ほ場や道路からの転落が113件、熱中症が111件、稲わら焼却中のやけどが102件などです。平成26年の死亡事故（350件）を農業従事者数をもとにした年齢階層別の10万人当たり発生件数で見ますと、70歳以上が21.4件、65〜69歳は9.9件、と65歳代以上の発生が顕著になっています（図3）。今回は死亡事故を見ましたが、これを上回る負傷事故が発生していると推測され、また多くの農業者がヒヤリ、ハット体験をされているものと思います。農林水産省ではこれら事故防止のため、ホームページで農作業安全にかける各種情報を提供しています。また、関係機関・関係者の協力を得て毎年「全国農作業安全確認運動」を進めており、今秋も9月〜10月を重点期間に設定し取り組みます。一人一人が安全意識を持つとともに、近所の方とも声かけあつて事故無く出来秋を迎えましょう。 ※参考URLは「農林水産省 農業安全対策」で検索。



今の心境は、 「のぼりつめて 少しくだれば 秋の寺」かな？

前回、前々回の続きの話になります。

情報誌・月刊インタビューに連載の歴史小説「天正の陣」の武将たちの挿絵を5年6ヶ月・全67話・約300点を終えた後、以前のような切り絵がスムーズにできません。武将たちの切り絵は、私の意識していた以上にストレスを感じる難しいものだったのでしようか。それとも他をストッブして専念したプランクが、切れなくさせているのでしょうか。目の疲れも感じるようになり、今後を思案しつつ、今年7月に展示会「天正の陣のさしえ展 その一」を開催。一度の展示会ではスペースの関係上、せいぜい10話の紹介が精いっぱいです。一度、全67話をまとめて展示したいと思っています。展示用の額装に整えるなど時間はかかりますが、「天正の陣」へのけじめをつけたいと思います。

目の病は、今のところ自覚症状は少ないですが、緑内障はストレスにも左右されるので無理をせず、ゆとりを持った制作活動をしていこうと思います。

そう考えていた矢先に、西条市の土産物を扱う観光交流センター（鉄道歴史パーク内）から「絵葉書サイズのオリジナルの切り絵を置きませんか」と声がかかります。通常はA4サイズの切り絵を作っていますが、時間と手間がかかり、販売価格も高くなります。小さな葉書サイズなら制作過程での失敗も少なく価格も抑えられ、色紙などに飾れます。しかも1点1点手作りなので細かな部分までよくわかる、世界に一つだけの作品となり、喜んでもらえるのではないのでしょうか。西条祭りのだんじりなど数点を今年の秋祭りまでに作っているところです。

展示会で野菜の切り絵を見られた方からは、自宅に飾る果物の切り絵を頼まれました。私の作品を直に見て、要望されるのはうれしく、ありがたいことです。ゆとりのある制作活動を、と思いつつもご要望にはできる限り応えていきたいとも思います。なぜなら、切り絵のツール（道具）が紙とハサミなら、私が苦痛に感じたコミュニケーションを克服し

塩崎 剛

SHIOZAKI TUYOSHI

はさみ切り絵作家。その作風は、ハサミのみで心に描いたモノを下絵なしでひと繋ぎに切る「はさみの一筆切り」。一枚の紙に命を吹き込むようなハサミ使い、芸術性に富む作品群をして「心の紙切り」とも称される。切り抜いた部分に背後から色和紙を重ね合わせて立体感や遠近感を出す手法で力強い存在感を放つ作品となる。

昭和34年9月4日、西条市出身・在住。切り絵の原点は、小学校低学年で巨人の王貞治選手の一本足打法を切り、周囲が驚いたことから。平成15年西条市郵便局本局にて初個展開催。以後、東予地方を中心に展示会や切り絵教室などを開催。観光交流センター（JR伊予西条駅前）では絵葉書を販売している。今年10月第4日曜日、成龍酒造（西条市周布）の蔵開きに参加予定。愛媛民芸館会員、俳句美術館（ネット内）会員。



▲平成23年度秋季県展、推奨受賞作「陽」

たツールは切り絵だと言っても過言ではないからです。或る、面白いエピソードがあります。西条市考古歴史館の展示会で切り絵教室も行いました。団体客が来られ、声をかけに行った館長さんは、手で×の合図を送ります。インドネシアの研修生たちでした。言葉が通じず、できないね、と。私はおもむろに紙とハサミで、蝶、カマキリと切り、やがて彼らもトンボ、トンボと言ひ、言葉は通じ

なくても楽しく分かり合えました。切り絵が言語の役割を果たしてくれたのです。切り絵同様にしたいことの一つにプラモデルがあります。切り絵は一気に切ってしまうといけません。プラモデルは途中で休むことができますので、溜まったものがたくさんあります。「天正の陣」のブランク後はプラモデルをすることで気持ち切り替えて切り絵に向かうこともできました。いつ



▲収穫したナスや白ネギを手に、野菜畑で

か合作展をしたいものです。そして今、最も興味があるのが家庭菜園です。1年前には考えられなかったのですが、昨秋買った手動耕運機をきっかけに園芸にハマり、今では日に日に大きくなるナスやキュウリに話しかけるほどです。今年の秋の県展は私が手塩をかけて育てた野菜たちの作品を考えているところです。こちんまりながらも年に一度は個展も行う予定です。来年7月にギヤラリーナーヤ（西条市船屋）で俳人・種田山頭火の切り絵展を考えています。「のほりつめて少しくだれば秋の寺」山頭火が西条で詠んだ句だそうです。いろいろな解釈ができますが、今の私の心境に通じるところがあり、「のほってへろへろ、今度は下る道が続いている、ようようと下ったところには色鮮やかな紅葉寺が両手を広げて待っていてくれるといいなあ」とイメージを膨らませています。



▶絵葉書サイズのだんじり。只今、制作真っ最中！

●JA愛媛野菜生産者組織協議会 第41回通常総会 「愛媛チーム」として生産基盤強化と消費拡大を！

愛媛県内11JA80部会（21品目）で組織するJA愛媛野菜生産者組織協議会は、6月30日、松山市で第41回通常総会を開き、約200人が出席し、「愛媛チーム」としてえひめ野菜の生産基盤整備と消費拡大・ファンづくりに向けた平成28年度事業計画を決めました。

同協議会は、昨年、「愛顔の広がる活力ある産地をめざして」をテーマに40周年記念大会を開き、品質向上・反収アップ、1戸あたり栽培面積の拡大、生産コスト低減や後継者・地域リーダーの育成を積極的に進めることを確認しています。今年の総会は、「自ら生産した野菜に自信と誇りをもとう」「安全・安心により産地のブランド化を図ろう」「消費者との交流を深め産地の信頼を強固にしよう」をスローガンに開きました。

28年度事業方針では、「愛媛チーム」として、マーケットイン（実需者ニーズ）に対応した販売強化のため、広域選果事業のモデル化による生産・販売・流通の効率化・低コスト化を図り、生産基盤整備に取り組むこと。また消費宣伝活動では、消費拡大およびえひめ野菜のファンづくりに向けて対面型消費宣伝活動の強化と「えひめの食企画」と連携した情報発信、消費者への効果的な産地アピールに取り組みます。

重点活動として、栽培技術向上や基盤強化に向けた生産振興事業、消費宣伝などの販売促進事業を展開。生産振興事業では、「農業者所得増大チャレンジ事業」の活用による生産性向上や基盤強化、県域課題と地域課題を明確にした栽培講習会の開催、JA部会加入促進対策を実施します。

販売促進事業では、関西地区と県内で「えひめ野菜フェア」を開催し、生産者参加型の販促を積極的に実施するほか、季節性の高い品目は品目別の特性を活かした効果的な販促も実施。「えひめの食」企画との連携に加え、今年度は、テレビとラジオを活用したPR活動も実施しています。

総会では、ベルグアース(株)の山口一彦代表取締役社長の「百姓でも会社経営はできるんや!!」と題した講演もありました。会場では、県農産園芸功労知事表彰と野菜生産改善共進会等の表彰式がありました。受賞者は次の皆さん（敬称略・カッコ内はJA名）。



▲県農産園芸功労知事表彰を受賞した藤田さん

◆愛媛県農産園芸功労知事表彰

【農業者】藤田隆幸（トマト・愛媛たいき）【団体】JA愛媛たいき野菜生産出荷協議会きゅうり部会

◆平成27年度野菜生産改善共進会

【レタス】▽県知事賞＝赤星文人（松山市）▽全農県本部長賞＝高市裕二（同）▽協議会長賞＝久津那妙子（同）、重川鐵（同）、成本啓裕（えひめ中央）

【冬春ほうれんそう】▽県知事賞＝石川清（西条）▽全農県本部長賞＝西原豊子（同）▽協議会長賞＝瓜守慎吾（周桑）

【ブロッコリー】▽県知事賞＝木下政良（えひめ南）▽県本部長賞＝西川峰男（同）▽協議会長賞＝金並英佑（松山市）、山内義隆（周桑）、東博志（えひめ中央）

【西瓜】▽県知事賞＝西山敬三（愛媛たいき）▽県本部長賞＝藤田秀美（同）、大力友子（えひめ中央）

◆全農愛媛県本部長感謝状＝木下務（松山市）、山崎久生（えひめ中央）、佐々木卓行（同）

●愛媛県米麦振興協会第22回通常総会

需要に即した生産誘導や販売促進、流通対策を実施

愛媛県米麦振興協会（会長：JA全農えひめ小越慎介県本部長）は、6月17日、松山市のJA愛媛で第22回通常総会を開き、「売れる米・麦・大豆」づくりなどを柱とする28年度事業計画を決めました。会議には、県・行政、JAなど関係者約20人が出席しました。

開会にあたり小越県本部長が、「近年は水稲・麦とも生育、収量において天候に左右されやすい状況が続いています。生産者手取りを向上させ、再生産を進めていくためには安定した収量と品質の確保が不可欠であり、これまで以上に栽培指導の強化、徹底をお願いするとともに、採種や生産面、集荷、販売、流通等において関係機関が連携・協力して取り組んでいただきたい」とあいさつしました。

重点事項として、「売れる米・麦・大豆」づくりのための需要に即した生産誘導と品質向上対策の実施、「水田活用米穀」の作付推進、販売促進・消費拡大対策、優良種子の安定供給と種子更新の推進、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けた対応などをあげています。

米では、「売れる米づくり」に向け県内需要に応じたJA別・銘柄別作付け計画に基づいた生産誘導と作型の集約を推進。「コシヒカリ」「あきたこまち」「ヒノヒカリ」「にこまる」を中心に作付誘導を行うとともに、酒米用の「松山三井」「しづく媛」は用途別需要に即した生産誘導を行います。「にこまる」は、栽培マニュアルの見直しに取り組みます。また、26年産「ヒ



ノヒカリ」に次ぐ米の食味ランキング「特A」評価獲得に向けて取り組みます。

主食以外の「水田活用米穀」（備蓄米・飼料用米等）の作付の推進ほか、現行耕作面積のフル活用を進めるとともに、「深耕」「堆肥・土壌改良材の施用」「疎植」を基本に収量・品質向上による収益改善でトータルコストダウン、業務用需要に対応した多収性品種の試験栽培等に取り組みます。

29年連続生産量日本一のはだか麦は、担い手を中心に品質向上や確実な生産量確保と需要に対応しうる安定的な供給体制の確立に取り組みます。高品質安定生産に向けて「ハルヒメボシ」への品種転換を基本に、平成30年より集荷施設単位での計画的な切り換えを進めます。

大豆は、担い手への集約、ブロックローテーションを進め、高品質・安定生産技術の確立・普及徹底に取り組みます。

●愛媛県肉牛生産者協議会28年度総会

本宮環新会長を選出！伊予牛「絹の味」をアピール

愛媛県肉牛生産者協議会は、6月15日、松山市のJA愛媛で平成28年度総会を開き、28年度事業計画と本宮環会長（新任・JAおちいまばり）以下の新役員体制を決めたほか、「持続可能な農業・農村の実現に向けた特別決議」を採択しました。

副会長には、池田一成さん（再任・JAえひめ南）、松本和夫さん（新任・JAひがしうわ）が選ばれました。28年度事業方針では、防疫・衛生管理の徹底と生産履歴の明確化により、安全・安心な伊予牛「絹の味」を生産。県内消費者にアピールするとともに販路拡大に取り組みます。

なお、総会に先立ち、27年度優良生産者とし



▲（左から）池田副会長、本宮会長、松本副会長

て、山本三好さん（JA愛媛たいき）を表彰しました。

●平成28年度新任TAC研修会

TACシステム操作と担い手訪問のスキル向上を！

J A全農えひめ営農支援課は、6月29日松山市内で、県内各J Aの1～2年目のTACを対象に「新任TAC研修会」を開きました。

研修会には、9 J Aから16人が参加。TACシステムのスキル向上を目的としてパソコンを使ってTACシステムの基本操作とポイントを学んだほか、担い手訪問の基本スキル習得に向けて、グループワークを実施しました。

グループワークでは、班ごとにTACが話し手、聴き手、オブザーバーとなり、会話をする中で、どのようにすれば相手に伝わるか、また相手が話しやすい環境にするためにはどうすればよいかを話し合い、整理。それを全体で発表



して情報共有しました。また、ロールプレイングの内容をもとに、各班で面談記録の整理・報告に関するグループワークを行いました。

●愛媛県農業用廃プラスチック適正処理推進協議会 理事会

協議会の発展的解散を決議

愛媛県農業用廃プラスチック適正処理推進協議会は、6月15日、理事会を開き、平成27年度事業活動報告と同協議会の解散を承認しました。

同協議会は昭和53年に設立し、①廃プラの回収・処理の現状及び課題の把握、②効果的・効率的対策の検討・方向づけ、③環境保全型農業の遂行、④法令順守への指導、⑤不法投棄の廃絶に向けた啓蒙活動を行ってきました。

農業用廃プラの再生化に向けた取り組みは、中間処理業者および最終処理業者との収集・運搬・処分ルート構築を行った結果、平成13年度に8%であった再生処理(リサイクル)率は、平成27年度95.8%と、23年度以降5年連続で



90%以上の高い水準を維持し、県協議会として一定の成果を上げてきました。こうしたことから、県協議会の役割は終えたと判断し、28年度(6月末)を持って発展的解散を行うことになりました。

●リジェール松山乾椎茸PRイベント

椎茸生産者がビアガーデンで県産乾椎茸をPR!

愛媛県椎茸同志会は、「乾椎茸の日」（7月7日）を前に7月5日、愛媛県産原木乾椎茸の美味しさ・魅力をPRし消費拡大につなげようと、松山市南堀端町のリジェール松山屋上ビアガーデンで愛媛県産乾椎茸のPRイベントを開きました。

同イベントは昨年に続いて2回目。同志会の成高王洋会長ほか同志会の会員夫婦など5人とJ A・J A全農えひめ・日本きのこセンター職員が、来場者に愛媛県産乾椎茸を使って考案した「ひとくち椎茸ピザ」「シイタケのタタキ」「椎茸まんじゅう」をレシピなどとともに無料配布し、愛媛県産原木乾椎茸の美味しさと料理法をPRしました。

試食した方は「美味しい」「ビールに合いますね」とおかわりをする人もいて大好評。「こんな料理は初めて。どのように作るの」と生産者に質問していました。

成高会長は、「昨年非常に評判が良かったので、今年は新メニューも加えて実施した。夏場はそうめんのダシ程度で需要が落ち込む時期。こうした機会を通じて、消費者にビールにも合っただ椎茸が主役となるメニューを紹介し、消費拡大につなげていきたい」と話していました。



●第32回 愛媛県採卵養鶏経営者協議会 総会

井上広司新会長を選出！生産性の向上とブランド確立めざす

愛媛県採卵養鶏経営者協議会は、6月21日、J A愛媛で第32回総会を開き、28年度事業計画と役員補選で井上広司新会長（J Aえひめ中央管内）を決めました。

28年度は、①生産性向上に努めコスト削減と品質改善、②「フレッシュ卵卵（らんらん）」の系統ブランド確立に向けた推進事業の展開、③次代を担う採卵養鶏経営者のネットワークづくりと継続的な育成、④防疫・衛生管理を徹底し、安全・安心な県内産鶏卵の供給に取り組むことを確認しました。

32回 愛媛県採卵養鶏経営者



なんでもBOX

●(株)ひめライス

「あらうまい！キャンペーン『サッ、ジャ、ポン！』編」 CMが愛媛広告賞テレビ広告部門で優秀賞受賞

愛媛広告協会主催の第35回（平成27年度）愛媛広告賞表彰式が6月2日に松山市内で開かれ、テレビ広告15秒部門で、(株)ひめライスの「あらうまい！キャンペーン『サッ、ジャ、ポン！』編」（制作広告代理店＝(株)電通西日本松山支社）が優秀賞を受賞しました。

このCMは、無洗米キャンペーンにあわせて制作したもので、フリーアナウンサーの作道泰子さんを起用。無洗米の「洗わずに炊ける便利さ」を、お米を「サッ」、水を「ジャッ」、スイッチを「ポン！」という擬音でアピールしています。昨年12月21日から今年2月末まで放送しました。

同社の愛媛広告賞優秀賞受賞は、今回で3回目となりました。同社の松田一人代表取締役社長は、「名誉ある賞をいただけてうれしい。今年もキャンペーンごとにCMを放映していきま



▲優秀賞の楯を手にする松田社長

すが、消費者の印象に残る、インパクトのあるCMを放映し、ひめライスと愛媛県産米の販売拡大につなげたい」と意気込んでいます。

●名京阪神愛媛会産地研修会

産地と市場の連携強化に向けて市場関係者が産地研修

関西・名古屋・中国地区の野菜取引市場で組織している名京阪神愛媛会（会員市場16社・山本尚会長）の担当者15人が、6月30日と7月1日の2日間愛媛県内の産地を訪問し、ほ場・選果場の視察や意見交換を行いました。

J A・J A全農えひめは、愛媛チームとしてえひめ野菜の約5割を名京阪神市場に出荷しています。J A全農えひめ野菜花卉課は、えひめ野菜の有利販売に向けて、市場担当者に産地の状況や取り組みを把握してもらうとともに、産地と市場がより一層連携を深めていこうと実施しました。

一行は、1日目にJ A愛媛野菜生産者組織協議会との交流会を実施。2日目はJ A松山市久万高原支所管内でトマト・ピーマンの選果場とピーマン圃場の視察、J A愛媛たいき管内ではトマト圃場の視察など、意見・情報交換を精力的に行いました。



●(株)えひめ飲料

えひめ逸品柑橘シリーズ第4弾 「POMえひめ逸品柑橘愛媛はれひめサイダー」発売

(株)えひめ飲料は、「POMえひめ逸品柑橘愛媛はれひめサイダー」(410ml・ペットボトル)を7月25日全国一斉発売しました。

同商品は、愛媛県で栽培が盛んなものの全国的にはあまり知られていない隠れた逸品柑橘の美味しさにこだわった『POMえひめ逸品柑橘シリーズ』第4弾商品。同シリーズは、「愛媛県の美味しい柑橘果汁で癒されてほしい」というコンセプトで、昨年11月の「清見」を皮切りに「ポンカン」「河内晩柑」を商品化しています。

今回の逸品柑橘「はれひめ」は、清見とオセオラとみかんを交配してできた品種で、平成13年に命名登録されました。愛媛県は生産量1,375トン(平成25年産)で全国生産量の7割以上を占めています。

「POMえひめ逸品柑橘愛媛はれひめサイダー」は、愛媛県産はれひめ果汁10%が入った炭酸飲料で、品種特徴の「みかんの甘みとオレンジの香り」、その2つの良さが楽しめる商品



に仕上げました。ラベルには、カタカナで品種名を大きく表示。愛媛県のイメージアップキャラクター「みきゃん」のデザインと愛媛県産農林水産物のみ表示可能な「愛媛産には、愛がある。」のロゴを表示し、「愛媛産」を前面に打ち出しました。

希望小売価格は140円(税別)。「POM NET SHOPまじめな宅配便」(☎0120-591-516)でも販売しています。

●平成28年度えひめ愛フード推進機構第1回総会

愛媛ブランドづくりや販路開拓支援の取り組みを確認

愛媛県など行政団体、JA全農えひめなど農林水産漁業団体や商工・流通団体などで組織するえひめ愛フード推進機構(会長:中村時広愛媛県知事)の平成28年度総会が、6月21日愛媛県庁で開かれ、28年度事業計画を決めました。

えひめ愛フード推進機構は、①「愛」あるブランド製品の認定・PR、②トップセールスやPRイベント、海外への輸出促進やえひめスイーツプロジェクトや料理コンクール開催等の販路開拓支援事業、③ホームページやJA全農えひめと連携したテレビ・ラジオ番組の放送など総合的なPR活動、④関連団体との連携・協力、⑤食のモデル地域構築事業に取り組んでいます。

28年度基本方針では、「柑橘王国えひめ」の一層のPRなど「愛媛ブランドづくり」のほか、「売れるしくみづくり」に取り組むことなどを確認。重点項目として、新たなブランド産品を核とし



たまるごと愛媛による県農林水産品の知名度向上、マレーシアにおける柑橘等県産農林水産物・加工品の総合的な愛媛フェアの拡大、台湾の輸出再開や販路拡大などに取り組むことにしています。



●いつも思うのですが、この時期にみかん大使を募集しているんですね。活動のメインは11月から4月なのに…。1年ってあつという間ですね。そしてみかん大使は早くも58代目ですね。最近では、JA共済やJAバンクが県内の直売所をPRしたり、愛媛の野菜・果物など、テレビでいろいろPRしているのを見て、とてもいいことしてくれるなって思います。
(今治市・越智 伸恭さん)

●表紙のイラストにはいつも心が和みます。季節感がありがたいですね。ずっと続けてほしいです。みかん大使58代目ということで長い間続いています。もうそろそろ女性ばかりじゃなく男性も募集してはいいかですか？消費の多い東京などは可愛い女性等はいくらでもいます。むしろカントリー風な男性に声をかけられると買っちゃいませんか。主婦層を狙わねば…。
(伊予市・武田 りき子さん)

★編集部より：「愛媛みかん大使」は、県内在住の18歳以上ということで、募集の段階で男性・女性の区別は付けていません。いつか男性のみかん大使が出てくるかもしれませんね。

●イノシシに負けています。何か負けない方法はないものかと思案中です。秋になるとますます気の重い日々を過ごすこととなります。勝つ方法が知りたいです。
今年もみかんジュースを送りたいと思うのですが、いろいろな商品があつて迷ってしまいます。2本ずつを詰め合わせたような、いろいろな味わい箱があればいいなあと思います。
(今治市・村越 久美子さん)

●ふるさとエッセーを読んで。目には見えない不思議な縁に導かれて：読ませていただきました。わが近くこんな素晴らしい切り絵の上手な方があるとは知りませんでした。趣味や特技を持つって素晴らしいですね。頑張ってください。ぜひ個展など開いて西条市の発展にご尽力ください。7月の大町会館にはぜひ見に行きます。
(西条市・高橋 千代美さん)

●日本酒が好きなので、地元愛媛の酒蔵紹介はとても嬉しく、訪ねてみたいですね。特集はたくさん良いことが書かれていましたが、少し難し

かったです。クッキングコーナーは、地元産豚を使った食欲をそそる内容・メニューで、すぐに料理してみたくまりました。裏表紙のみかんジュース紹介は良かったです。こんなにいるいろんな種類のジュースがあるとは知りませんでした。都会の子どもや孫に贈って飲ませてやりたいですね。
道の駅やガーデンングなどプロ顔負けの方々の紹介があれば、励みになります。美しい景色の見えるロード紹介などあればうれしいです。
(宇和島市・徳島 靖子さん)

●今月の素材はいつも助かります。身近で安全な愛媛の食材を簡単にわかりやすく紹介していただいて、料理の苦手な私にもすぐ挑戦できます。本が届いた日は、今晚の新メニューです。今年初めて愛飲運動商品の「愛媛の不知火50」を購入しました。大阪に住む娘にも届けたい、甘くてお気に入りの様子。でも香川の友人は「やっぱり果汁100%のみかん・いよかんジュース！」だそうです。
(八幡浜市・岡 葉子さん)

●今年の夏は暑い！外で仕事をする人は太陽と湿度の高さで体力を消耗してしまいます。私も第一回目の夏バテ？体調を崩しました。水分補給「POM塩と夏みかん」とよい睡眠を心がけて、まだまだ続く夏を乗り越えたいです。パワースポットを紹介してください。
(松山市・楠 裕子さん)

●今月の素材「豚ロース肉」。豚肉カレー揚げはスパイシーで、息子の弁当にも入れましたが、「うまい！」とお褒めの言葉が。豚キムチ和えは、とっても簡単です。豆もやしの食感とキムチの旨辛味がコリアンフードメニューで家族にも人気でした。この暑さですが、夏バテ知らずで乗り切れそうです。
若手農業者の方を紹介してほしいです。これからの日本農業の担い手として頑張れる！島の農業など紹介したら面白いと思います。加工食品など、生産者や地域の皆さんが中心となって加工・販売している事例なども紹介したらよいと思います。
(松山市・伊藤 光代さん)

今月のクイズ

（※えひめ飲料が発売した「POMえひめ逸品柑橘シリーズ」第4弾商品に使われている柑橘の品種名は？）

「は○○○」

プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。

応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。



締切り

平成28年9月20日（当日消印有効）

発表表

「あぐり〜ど」10月号で発表します。

当選者発表

6月号の答えは「第58代目」でした。たくさんのお便りありがとうございました。厳正な抽選の結果、次の10人の方に図書カード1,000円分をお送りします。

- | | |
|--------------|---------------|
| 鈴木 直美さん（松山市） | 河原 俊博さん（松山市） |
| 瀬川 憲子さん（西条市） | 上田トクミさん（八幡浜市） |
| 松本 恵子さん（松山市） | 武田 五月さん（西条市） |
| 得居美由紀さん（松山市） | 高橋 静恵さん（新居浜市） |
| 村上 瞳さん（今治市） | 亀岡 譲さん（松山市） |

編集後記

★5ページで紹介しましたが、10月29日、松山市のアイテムえひめで毎年恒例の総合イベント「レインボーフェスティバル」を開催します。24回続くJAグループの一大イベントです。多数の出品・参加をお願いします。今年は今のところ県内での台風被害はないものの、梅雨期の長雨から一転、梅雨明け後は猛暑・少雨が続き、農家の苦労は絶えません。熱中症・夏バテに十分留意して！

（正直）

今月の素材
ナス



種類いろいろ、食べ比べて
さらにおいしさ再発見



▶(左後)ナスとささみの梅和え、(前)ナスの南蛮漬け、
(右後)ナスの冷やし餡かけ

指導/学校法人愛媛学園 (愛媛調理製菓専門学校) 大佐古 正子先生

ナスとささみの梅和え

〈材料・4人分〉	※1人あたり約40kcal
ナス	大1本
鶏ささみ肉	1本
キュウリ	1/2本
大葉	4枚
塩	適量
酒	少々
梅干し	4個
濃口醤油	小さじ1
カツオ節	少々

〈作り方〉

- ① ナスは短冊切り、キュウリは縦半分に切り斜め薄切りにして、それぞれ塩もみにする。
- ② ささみは塩と酒をふり、電子レンジにかけて火を通し、細かくさく。
- ③ 大葉は細かく刻み、水でさらす。
- ④ ボウルに種を取り荒く刻んだ梅干しと醤油を混ぜ、①②を加えてさっくり合わせる。
- ⑤ 器に盛り、③とカツオ節をのせる

ナスの南蛮漬け

〈材料・4人分〉	※1人あたり約190kcal
ナス	大2本
豚モモ肉 (スライス)	200g
酒	大さじ1
濃口醤油	小さじ1
ニンニク (すりおろし)	小さじ1/2
片栗粉	適量
シシトウ	8本
② 〈南蛮酢〉	
ダシ	150cc
ミリン	大さじ2
濃口醤油	大さじ2
酢	大さじ3
砂糖	大さじ1
輪切り唐辛子	3~5個
ミョウガ (小口切り)	2本
カイワレ大根	1/2パック
揚げ油	適量

〈作り方〉

- ① ナスは少し大きめの乱切りにする。
- ② 豚肉は①で下味をつけ、片栗粉をまぶす。
- ③ シシトウは包丁で切り込みを入れる。
- ④ 鍋に油を熱し、①③は素揚げ、②は160℃でカリッと揚げ、ボウルに入れる。
- ⑤ 別の鍋に② 〈南蛮酢〉を入れて沸かし、④にかける。
- ⑥ ⑤の粗熱が取れたら器に盛り、ミョウガとカイワレ大根を飾る。

ナスの冷やし餡かけ

〈材料・4人分〉	※1人あたり約111kcal
ナス	大3本
無頭エビ	4尾
オクラ	2本
トウモロコシ	1/3本
塩	少々
ダシ	300cc
① ミリン	大さじ2
薄口醤油	大さじ2
② 水	大さじ3
くず粉	大さじ2
生姜 (すりおろし)	1かけ

〈作り方〉

- ① ナスは焼いて皮をむき、3等分に切る。
- ② エビは殻つきのまま茹で、冷水に取り、殻をむき1cm幅に切る。
- ③ オクラは塩茹でして、冷水に取り、小口切りにする。
- ④ トウモロコシは塩茹でし (3~5分)、粗熱を取り、包丁で実をそぎ取る。
- ⑤ 鍋に①を入れて沸かし、② (水溶きくず粉)を加えてよく混ぜ、とろみをつける。
- ⑥ ⑤の粗熱が取れたら、②③④を加えて、冷やす。
- ⑦ 器に①を盛り、⑥をかけて、おろし生姜をのせる。

愛媛はれひめ
サイダー 期間限定

柑橘王国「愛媛」の隠れた逸品をお届け

「はれひめ」は、(清見タンゴール×オセオラ)×宮川早生の交配種で、2001年に品種登録されたみかんタイプの爽やかな柑橘です。みかんの甘みとオレンジの香り2つの良さが楽しめるはれひめ果汁炭酸をお楽しみください。

愛媛のはれひめ
おいしいけんね

株式会社 えひめ飲料

〒791-8603 松山市安城寺町478番地
TEL: 089-923-1500 FAX: 089-924-0304

<http://www.ehime-inryo.co.jp>
(通販専用) <http://www.pom-j.com>



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

組合員のみなさまへ

はじめませんか？ 省エネ住宅でエコライフ。

JAオリジナル住宅

エコキャンペーン

2016年6月1日～12月30日

※2017年3月31日までに着工可能、及び床面積30坪以上の方に限ります。



【エイジ】



【イーズマインド】

期間中、ご成約の方に、
エコキュート460ℓ
もしくは
エコジョーズ(LPガス給湯器)
プレゼント!

エコキュート   

光熱費がお得！地球環境にもやさしい給湯システム。



リフォームも
「基本は安心」
JAホームで。

バス
〈こんな方に〉
この際、快適なシステムバスにしたい。タイルがひび割れて、水漏れが心配。



キッチン
〈こんな方に〉
IH、食器洗い等、機能を充実させたい。流し廻りを清潔に保ちたい。



トイレ
〈こんな方に〉
汲りから水洗便所にしたい。座って楽な洋便器にしたい。



新築から増改築まで、なんでもお気軽にご相談(無料)下さい。

お気軽に近くのJAホーム窓口までお問い合わせ下さい。



JAホーム  お近くのJA窓口へ

JA全農えひめ 生活部 施設農住課
TEL(089)909-9466  JA/JA全農えひめ

この冊子は再生紙を使用しています。